



2022年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年10月15日

上場会社名 株式会社 スーパーツール

上場取引所 東

コード番号 5990 URL <http://www.supertool.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平野 量夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部兼総務部部长 (氏名) 小中 渉

TEL 072-236-5521

四半期報告書提出予定日 2021年10月27日

配当支払開始予定日

2021年11月16日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年3月16日～2021年9月15日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	3,807	2.8	380	37.7	337	39.0	228	42.0
2021年3月期第2四半期	3,703	24.2	276	53.4	242	54.7	160	54.9

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 254百万円 (2.4%) 2021年3月期第2四半期 248百万円 (17.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	112.26	
2021年3月期第2四半期	78.80	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	15,091	9,435	62.5
2021年3月期	14,852	9,238	62.2

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 9,435百万円 2021年3月期 9,238百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		30.00		30.00	60.00
2022年3月期		30.00			
2022年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年3月16日～2022年3月15日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,350	0.6	650	16.1	560	15.2	370	14.8	181.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	2,084,304 株	2021年3月期	2,084,304 株
期末自己株式数	2022年3月期2Q	48,421 株	2021年3月期	50,651 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	2,036,766 株	2021年3月期2Q	2,043,119 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動の抑制が継続されるなか、設備投資などに持ち直しの動きがみられたものの、複数の都道府県で緊急事態宣言およびまん延防止等重点措置の実施が継続されるなど、依然として厳しい状況で推移しました。世界経済につきましても、持ち直しの動きがみられ、継続が期待されるものの、同感染症の影響により、先行き不透明な状況が依然として続いております。

このような状況のなか、金属製品事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、営業活動が制限されるなか、顧客ニーズに合致した販売企画やホームページを活用した効果的な顧客への訴求、物流に特化した展示会へのクレーン類の出展や、国土交通省によって運営されるNETIS（新技術情報提供システム）への登録など、販売拡大の為の施策に取り組んでまいりました。また、開発型企業として、多様化する顧客ニーズに対応するため、マルチクレーンへの旋回機能付加やチューブカッターに面取り用のリーマを付属させるなど顧客目線での製品開発や、既存製品のラインナップ拡充なども含め、あらゆる産業に対応する新製品の開発に注力してまいりました。さらには、生産効率向上、コストダウンを目指した設備の導入なども行い、収益の安定化に取り組んでまいりました。

一方、環境関連事業につきましては、制度改正等による厳しい事業環境のなか、事業環境の変化を見据えた商材の充実や新たなビジネスモデルの確立などにも注力し、収益確保に努めてまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,807百万円（前年同四半期比103百万円増、2.8%増）、営業利益は380百万円（前年同四半期比104百万円増、37.7%増）、経常利益は337百万円（前年同四半期比94百万円増、39.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は228百万円（前年同四半期比67百万円増、42.0%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は次のとおりであります。

(金属製品事業)

多彩な製品群により、幅広い産業で使用される当社製品において、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続くなか、国内販売において、作業工具の分野につきましては、豊富なラインナップでさまざまな機械のメンテナンスに有用なプーラー類が順調に推移いたしました。産業機器の分野につきましては、早送り機能を追加したスクリーサポートなど、機械加工において作業効率に優れた治工具類の売上が順調に推移いたしました。

海外市場では、当社の主要市場である韓国やワクチン接種が進んだ地域などにおいて景気に持ち直しの動きがみられたものの、その他の地域では、依然として厳しい状況にあるなかで、韓国では現地法人の強みを活かした営業活動に取り組み、その他の地域においても安全性と日本企業の製品であることをアピールポイントとしながら、顧客とのコミュニケーション深化を図るとともに積極的な販売拡大施策に取り組んだ結果、海外において売上は堅調に推移いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は2,557百万円（前年同四半期比327百万円増、14.7%増）、セグメント利益は496百万円（前年同四半期比85百万円増、20.8%増）となりました。

(環境関連事業)

新型コロナウイルス感染症の影響や、制度改正等により厳しい事業環境にあるなか、より筋肉質な事業体制を構築すべく、当社独自のノウハウを有する水上設置型の施工案件や太陽光発電所事業の仕掛案件の早期完遂を推し進めてまいりました。また、固定価格買取制度(FIT)から新たな制度(FIP)への移行を見据えた関連商材の充実や、太陽光発電事業のノウハウを活かしたフィービジネスへの推進を図り、収益確保に努めた結果、業績は底堅く推移いたしました。

なお、売電部門では、3ヵ所の発電所が順調に稼働しており、収益の安定化に寄与しています。

これらの結果、当セグメントの売上高は1,249百万円（前年同四半期比223百万円減、15.2%減）、セグメント利益は65百万円（前年同四半期比7百万円減、10.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比1.6%増の15,091百万円（前連結会計年度は、14,852百万円）となり前連結会計年度末に比べ239百万円増加しました。

この主な要因は、流動資産では、受取手形及び売掛金の増加607百万円、仕掛品の増加67百万円、商品及び製品の減少386百万円、前渡金の減少71百万円等であり、固定資産では、機械装置及び運搬具の増加38百万円等であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比0.8%増の5,656百万円（前連結会計年度は、5,613百万円）となり前連結会計年度末に比べ42百万円増加しました。

この主な要因は、流動負債では、前受金の増加285百万円、未払金の減少76百万円、短期借入金の減少50百万円等であり、固定負債では、長期借入金の減少49百万円、退職給付に係る負債の減少18百万円等であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比2.1%増の9,435百万円（前連結会計年度は9,238百万円）となり前連結会計年度末に比べ196百万円増加しました。

この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加228百万円、配当金の支払いによる減少61百万円、その他有価証券評価差額金の増加27百万円等であります。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ60百万円減少し2,055百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動においては、売上債権の増加607百万円等により資金の減少がございましたが、税金等調整前四半期純利益336百万円、たな卸資産の減少307百万円、前受金の増加285百万円等により、325百万円資金が増加（前年同期比543百万円の資金増加）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動においては、有形固定資産の取得による支出185百万円等により193百万円資金が減少（前年同期比265百万円の資金増加）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動においては、配当金の支払額61百万円、長期借入金の返済による支出60百万円、短期借入金の純減少額50百万円により192百万円資金が減少（前年同期比1,009百万円の資金減少）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2021年7月15日付「2022年3月期第1四半期決算短信[日本基準]（連結）」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月15日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,126,199	2,065,616
受取手形及び売掛金	1,451,030	2,058,204
商品及び製品	1,887,253	1,500,444
仕掛品	801,855	868,997
原材料及び貯蔵品	278,125	290,729
前渡金	1,440,555	1,369,523
未収入金	525,101	525,585
その他	55,088	40,879
流動資産合計	8,565,209	8,719,981
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	426,233	410,496
機械装置及び運搬具(純額)	827,034	865,779
土地	4,499,357	4,499,357
その他(純額)	47,907	49,213
有形固定資産合計	5,800,533	5,824,847
無形固定資産	59,441	65,888
投資その他の資産		
投資有価証券	338,453	380,125
繰延税金資産	56,135	57,152
その他	32,370	43,437
投資その他の資産合計	426,959	480,716
固定資産合計	6,286,935	6,371,451
資産合計	14,852,144	15,091,433

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月15日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月15日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,074,087	1,066,867
短期借入金	1,520,000	1,470,000
1年内返済予定の長期借入金	114,960	104,760
未払金	840,228	763,573
未払法人税等	94,203	136,058
前受金	84,695	370,136
賞与引当金	48,736	48,012
その他	86,093	16,577
流動負債合計	3,863,005	3,975,984
固定負債		
長期借入金	537,580	487,600
再評価に係る繰延税金負債	1,022,632	1,022,632
繰延税金負債	2,125	—
退職給付に係る負債	187,246	169,174
その他	983	1,002
固定負債合計	1,750,568	1,680,409
負債合計	5,613,573	5,656,393
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,902,597	1,902,597
資本剰余金	837,206	835,706
利益剰余金	4,154,993	4,322,626
自己株式	△114,222	△109,555
株主資本合計	6,780,574	6,951,374
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	139,839	167,256
繰延ヘッジ損益	1,242	△73
土地再評価差額金	2,317,100	2,317,100
為替換算調整勘定	△185	△618
その他の包括利益累計額合計	2,457,996	2,483,664
純資産合計	9,238,570	9,435,039
負債純資産合計	14,852,144	15,091,433

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月16日 至 2020年9月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月16日 至 2021年9月15日)
売上高	3,703,320	3,807,017
売上原価	2,757,683	2,812,859
売上総利益	945,636	994,158
販売費及び一般管理費	668,959	613,291
営業利益	276,676	380,867
営業外収益		
受取利息	23	13
受取配当金	3,798	3,011
受取補償金	909	—
助成金収入	6,390	—
その他	2,086	3,274
営業外収益合計	13,207	6,299
営業外費用		
支払利息	3,557	4,683
売上割引	43,294	45,029
その他	568	351
営業外費用合計	47,421	50,065
経常利益	242,463	337,101
特別利益		
固定資産売却益	—	18
特別利益合計	—	18
特別損失		
固定資産除売却損	1,244	1,074
特別損失合計	1,244	1,074
税金等調整前四半期純利益	241,218	336,045
法人税、住民税及び事業税	99,818	122,064
法人税等調整額	△19,587	△14,662
法人税等合計	80,230	107,402
四半期純利益	160,988	228,642
親会社株主に帰属する四半期純利益	160,988	228,642

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月16日 至 2020年9月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月16日 至 2021年9月15日)
四半期純利益	160,988	228,642
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	64,932	27,417
繰延ヘッジ損益	22,080	△1,315
為替換算調整勘定	253	△432
その他の包括利益合計	87,266	25,668
四半期包括利益	248,254	254,310
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	248,254	254,310
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月16日 至 2020年9月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月16日 至 2021年9月15日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	241,218	336,045
減価償却費	85,881	88,515
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7,416	△724
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△1,826	△18,071
受取利息及び受取配当金	△3,821	△3,025
支払利息	3,557	4,683
為替差損益 (△は益)	208	△17
有形固定資産除売却損益 (△は益)	1,244	1,056
売上債権の増減額 (△は増加)	29,694	△607,173
たな卸資産の増減額 (△は増加)	497,288	307,063
仕入債務の増減額 (△は減少)	△23,334	△7,220
前受金の増減額 (△は減少)	△61,143	285,440
前渡金の増減額 (△は増加)	△951,114	71,031
未収入金の増減額 (△は増加)	1,499	△483
未払金の増減額 (△は減少)	85,708	△76,655
その他	59,899	12,411
小計	△42,453	392,874
利息及び配当金の受取額	3,822	3,024
利息の支払額	△3,654	△4,670
法人税等の支払額	△181,856	△94,675
法人税等の還付額	—	28,473
助成金の受取額	6,390	—
保険金の受取額	—	550
営業活動によるキャッシュ・フロー	△217,752	325,577
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△428,635	△185,650
投資有価証券の取得による支出	△2,482	△2,154
無形固定資産の取得による支出	△28,335	△6,760
その他	491	1,341
投資活動によるキャッシュ・フロー	△458,961	△193,222
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	650,000	△50,000
長期借入れによる収入	400,000	—
長期借入金の返済による支出	△90,756	△60,180
自己株式の取得による支出	△50,123	△21,334
配当金の支払額	△92,278	△61,009
財務活動によるキャッシュ・フロー	816,842	△192,523
現金及び現金同等物に係る換算差額	124	△413
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	140,253	△60,582
現金及び現金同等物の期首残高	1,478,416	2,116,127
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,618,669	2,055,544

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年6月25日開催の取締役会決議に基づき、当社の取締役等（監査等委員である取締役及び社外取締役を除く）に対する譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分を行いました。この処分により自己株式は26,001千円（11,530株）減少いたしました。また、2021年7月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この取得により自己株式は21,334千円（9,300株）増加いたしました。この結果、当第2四半期連結会計期間末において、自己株式は109,555千円となりました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2020年3月16日 至 2020年9月15日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	金属製品事業	環境関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,229,935	1,473,385	3,703,320	—	3,703,320
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,229,935	1,473,385	3,703,320	—	3,703,320
セグメント利益	411,382	72,708	484,091	△207,414	276,676

(注) 1 セグメント利益の調整額△207,414千円には、セグメント間取引消去1,808千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用△209,223千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2021年3月16日 至 2021年9月15日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	金属製品事業	環境関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,557,190	1,249,827	3,807,017	—	3,807,017
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,557,190	1,249,827	3,807,017	—	3,807,017
セグメント利益	496,745	65,371	562,117	△181,250	380,867

(注) 1 セグメント利益の調整額△181,250千円には、セグメント間取引消去1,785千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用△183,035千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。